



6月1日は善意の日です

～出来る事から始めてみませんか？～



南あわじ市社会福祉協議会

ボランティア センターだより



2024年6月
第187号



「社会のために、人のために何かをしたい」という気持ちはだれもがもっていますが、自分の善意をどうすればあらわせるかわからないまま、心の中で埋もれていることもあり、ひとの善意をいっぱい受けることもあります。

また、一度も人の善意にふれる機会のない人々も多くあると思います。このような県民ひとりひとりの善意と誠意を結び、集め育てることによって、社会の福祉を増進し、明るい豊かな郷土づくりをすすめて行きたいと念願し、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が共同主唱者となり、6月1日を「善意の日」として制定しています。

社会福祉協議会の善意銀行は、市民のみなさまから善意の金銭・物品をお預かりして、それを有効に社会に還元することによって福祉の増進に寄与しています。

みなさまの幸せを願い、明るい地域社会づくりに役立てています。



🍷 令和5年度善意銀行に寄せられた寄附金は、下記の通り有効に活用させていただいています。



| | 件数 | 金額（円） | 内容 |
|------------------------------------|----|---------|---|
| 歩行補助器購入助成金 （上限5,000円） | 19 | 95,000 | 高齢者の介護予防の一環として歩行補助器購入助成を行っています。 |
| チャイルドシート・ベビーカー購入助成事業 （上限5,000円） | 58 | 290,000 | 子育て支援の一環として、チャイルドシート・ベビーカー・ジュニアシート購入の助成を行っています。 |
| 安全坊や設置事業 | 35 | 170,040 | 交通安全活動の一環として、学校や市民の申し出に基づき、信号のない交差点等の危険箇所へ安全坊やを設置する助成を行っています。 |

※善意銀行への寄附は、確定申告で寄附金控除を受けることができます。

※上記以外にも地域からの相談や要望に応じて、必要な払い出しを行っています。

チーム「アンジェリコ」結成！

朗読ボランティア初級講座がきっかけで、チーム「アンジェリコ」が誕生しました。イタリア語で「天使」という意味です。チーム名には、子ども達が天使のようにかわいい心を持ったまま育ててほしいという願いが込められています。デビューとなった辰美小学校での放課後子供教室では、絵本の読み聞かせだけでなく、ちょっとしたゲームも交えながら、楽しいひと時になりました。

参加した子ども達は、目をキラキラさせながら、絵本の読み聞かせに聞き入っていました。チーム「アンジェリコ」のみなさまは、「何をしようか考えて、練習して、披露できることが楽しい」と明るい表情で話されていました。



三原志知「ふれあい広場」が始まりました！

コロナ禍以降、集まる機会が減り閉じこもりがちになりつつある高齢者の環境をどうかしよう、地元の民生委員・児童委員、市民交流センターの方々が話し合い、4月25日に三原志知公民館で第一回「ふれあい広場」を開催しました。

当日は体操から始まり、志知小学校がまだ旧校舎であるとき(昭和29年～34年)の運動会の様子を写真上映してくれました。映像を見るとタイムスリップしたようで、「大勢の生徒やな」「ぞうりではなく、はだしや」「万国旗、家で書いたな」と、当時を懐かしむ声が聞こえてきました。その後、みんなでカードゲームをして、楽しいひと時を過ごしました。



参加者は「近所に住んでいても、会うのは久しぶり」「前は老人クラブの集まりで家から出ていたが、最近出るきっかけが減ってきた」と、参加することの楽しさ、集まる事の必要性を感じたようです。

これからも人とのつながりを実感できる集まりになるといいですね！



南あわじ市社会福祉協議会

生活支援



コーディネーター



だより

発行

南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122

南あわじ市広田広田 1064

【TEL】 44-3007

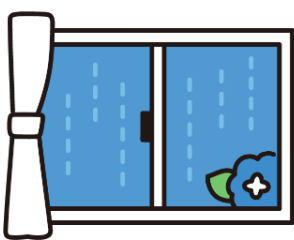
【FAX】 44-3037

【MAIL】

info@minamiawaji-shakyo.or.jp



～SOSを出しやすい関係性づくり～



6月といえば梅雨の季節。曇りや雨の日が続きますね。梅雨前線の動きによっては「警報」が発令されることもあります。大雨や浸水への警戒が必要です。

災害は、お子さまや高齢者がひとりで家にいる時や別の場所にいる時に発生することも考えられます。そこで頼りになるのは「ご近所さん」です。

普段から心がけておきたい関係性づくり

- ・地域の行事に家族で参加して、顔の見える関係性をつくっておくと、災害時の避難所での助けあいもでき困りごとなど不安な時に助け合えます。
- ・ご近所付き合いをして、顔見知りをして、顔を合わせることで支援が必要な人がわかり、災害が起きた時に安否が確認でき、スムーズに避難ができます。
- ・顔見知りの間では、ちょっとした頼みごとがしやすく、声をかけ合う関係性を築くことができます。



誰もが助けを必要とする状況になることがあります。いざという時、「大丈夫ですか」と声かけできるように、日頃からのあいさつをするなど、日々のつながりが大切です。困った時には「おたがいさま」で助け合いましょう。